

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2012年10月号 (No. 46)

平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:http://www.hirai-ao.com/

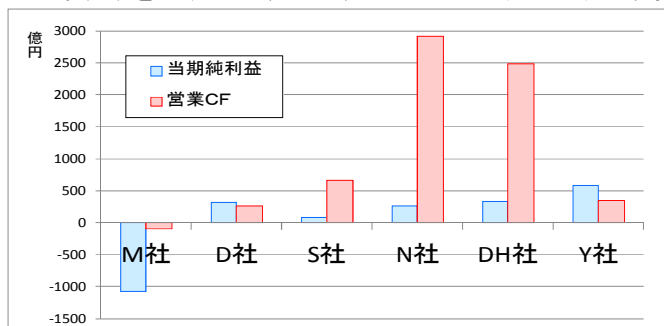
もう銀行には甘えられない！キャッシュフローを勉強しよう

資金繰りが厳しい中小企業を救済するための「中小企業金融円滑化法」が来春の平成25年3月末でついに終了となります。これまで条件変更等に応じてくれていた銀行もコロっと態度が変わるかもしれません。どんな状況になっても慌てないために経営者自らが自社の資金繰りをつかむことが大切です。そこで今回は、上場企業の財務諸表でキャッシュフロー計算書の見方をご紹介します。

社名	M社	D社	S社	N社	DH社	Y社
業種	製造業	サービス業	卸売業	証券業	建設業	小売業
売上高	2.0兆円	1.9兆円	1.9兆円	1.9兆円	1.8兆円	1.8兆円
当期純利益	-1076億円	315億円	81億円	261億円	332億円	583億円
営業CF	-91億円	264億円	655億円	2909億円	2488億円	343億円
投資CF	-703億円	459億円	-146億円	99億円	-1172億円	-381億円
財務CF	2365億円	-273億円	-50億円	-8443億円	-288億円	-244億円

◆営業CFをみてみよう

各社の当期純利益(事業の儲け)と営業CF(本業で獲得した資金)をグラフにすると、以下のとおりとなります。



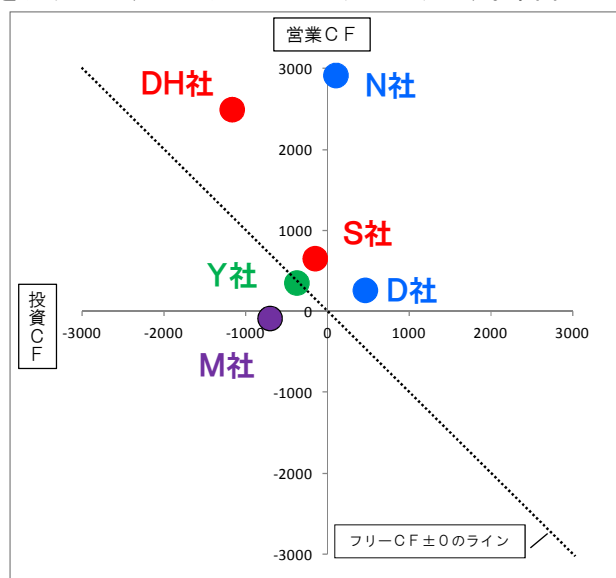
グラフを見てわかるように、利益と営業CFには差額が発生します。会計ルールと実際の資金の動きとのズレがあるのが原因で、具体的に次のようなものがあります。

- ・ 売上の計上と入金タイミングが異なる
 - ・ 仕入や経費の計上と支払のタイミングが異なる
 - ・ 減価償却(資産の購入費用を数年に分けて経費にする処理)や引当金(将来発生する費用・損失を見積もって経費にする処理)など、おカネの出ない経費がある
- 他M社、S社、N社、DH社の営業CFが利益に比べて多いのは減価償却などの資金が出ない経費が多かったことが原因のようです。なお利益額に比べて営業CFが極端に少ないと、見せかけの売上や在庫の水増しで計上された利益があるなど実態とかけ離れている可能性もあります。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/

◆フリーCFをみてみよう

営業CFと投資CF(工場や機械などの設備購入や事業買収のための株式取得などにまわした資金)のバランスをグラフにすると以下のとおりとなります。営業CFと



投資CFの合計をフリーCFといいフリーCFがプラスであれば、本業で獲得した資金で投資資金をまかなえている(銀行や投資家からの資金調達が必要)といえます。

「営業CFが(+), 投資CFが(-), フリーCFが(+)」のDH社、S社は理想的なバランスです。「営業CFが(+), 投資CFが(-), フリーCFが(-)」のY社はやや投資額が多いともいえます。「営業CFも投資CFも(+)」のN社、D社は返済や将来の投資のために資金が必要なかもしれません。例えばN社の財務CF(借入の返済等)は実際に多額のマイナスとなっています。「営業CFも投資CFも(-)」のM社は現状を挽回するために無理をしているのかもしれません。銀行等の今後の協力姿勢が気になるところです。

◆自社のキャッシュフロー計算書をみてみよう

キャッシュフロー計算書をみれば、B/S、P/Lでは分からない経営状況や会社の方向性等をつかむことができます。外部から自社がどう見えているのかを把握するためにも一度自社のキャッシュフロー計算書を見てください。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。